



[京都市の景観重要建造物]

景 072 (H26)

京都御苑に隣接し、寺町通りの西側にある梨木神社の境内周辺には、明治まで公家屋敷が多く、当時の梨木通りは、朝夕参内する公卿たちの参内道として使われていました。明治18年（1885）、久邇宮朝彦親王の令旨により、三条家の邸宅跡に三條實萬を祀るための社殿を造営し、地名からとられた梨木神社の社号と別格官幣社の列格を受けて創建されました。

敷地南端の鳥居から参道が北へ一直線に延び、神門、拝殿、祝詞舎、幣殿、本殿、また神門南側の参道両側には、参集殿、新旧の茶室、能舞台、社務所が並んでいます。明治18年の創建時には、本殿と社務所、仮拝殿、仮手水所が建てられ、明治20年から22年にかけて幣殿、祝詞舎、拝殿、神庫が整備されました。その後、大正4年に能舞台の建築と京都御所から旧茶室（春興殿）の移築がなされ、昭和10年には神門、神饌所、社務所等の建築が行われました。

敷地は、藤原良房の娘明子（染殿皇后）の里御所の趾で、この良房の屋敷を染殿と称したことから、宮中御用の染所の水として、この井戸が用いられました。現在も「染井の水」として、京の三名水のひとつにあげられます。

境内には約500株の萩が植えられ、萩の名所としても知られています。9月中旬から下旬には、萩まつりが開催されます。



梨木通り



手水舎（染井の水）



〒602-0844 京都市上京区染殿町680

電話番号 075-211-0885

F A X 075-257-2624

アクセス 市バス「府立医大病院前」徒歩約3分

ホームページ <https://www.nashinoki.jp/>